



The 61st Annual Meeting of the Japanese Society of Anesthesiologists

日本麻酔科学会第61回学術集会

共催セミナー L17

手術を勧められた時に 飲むドリンク

Drinks recommended before your surgery

日時

2014年5月16日(金)
12:45~13:45

会場

パシフィコ横浜 E会場

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

共催

公益社団法人日本麻酔科学会

ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー

座長

後藤 隆久 先生

横浜市立大学附属病院 麻酔科学

演者

岩坂 日出男 先生

大分市医師会立アルメイダ病院 麻酔科



Nestlé Health Science

手術を勧められた時に 飲むドリンク

Drinks recommended before your surgery

大分市医師会立アルメイダ病院 **岩坂 日出男** 先生

10年程前から入院患者の栄養状態の改善が合併症の軽減や在院日数の短縮に効果があることが注目され全国的に各病院で栄養サポートチーム(NST)が立ち上げられた。私も麻酔科医としてNSTのリーダーとして参加するなかで手術患者の予後改善にNSTとして貢献できる方法を模索してきた。当時、欧州ではERAS(Enhanced Recovery After Surgery)プロトコルが注目されていた。このプロトコルで麻酔科医はチームの一員として重要な役割を担っていた。硬膜外鎮痛法などERASプロトコルの幾つかは既に日本でも実施されているものであった。しかし、術前の絶飲食に関しては欧米のガイドラインを知識として持つてはいても、実際に実施している施設は決して多くはなかった。ERASプロトコルの一つに絶飲食の改善と経口炭水化物負荷の重要性が示されていた。われわれもこの点に注目し、術前の絶飲食時間の改善とともに経口炭水化物含有水による炭水化物負荷をNST活動の一環として導入した。経口炭水化物含有水の補水により術前患者の口渴感、不安感は改善されると同時に手術侵襲の軽減効果も示され、多くの日本の施設からも術後悪心嘔吐の改善、食事摂取量の改善効果が示されてきた。特に注目すべきは手術侵襲によるインスリン抵抗性の改善効果である。手術侵襲もたらすインスリン抵抗性は心筋梗塞や敗血症などの重篤な合併症の発生と関係してくる。このためインスリン抵抗性の改善は呼吸・循環管理と同様に麻酔科医の新たな管理項目の一つとなってきた。術前経口炭水化物含有水の補水は術中に生じるインスリン抵抗性を改善することが明らかとなってきた。日本での多施設共同研究で術前炭水化物含有水の補水の安全性も昨年、本学会で報告された。現在、患者高齢化に伴い栄養障害の一つである筋肉量の減少しているサルコペニア患者も増加してきている。当施設での術前調査では筋肉量とBMIには相関関係が認められず、たとえBMIが正常でもほぼ半数の患者はサルコペニアの状態であった。また時計遺伝子解析による体内リズムの調節機構も明らかとなってきた。術前炭水化物含有水の補水は栄養状態の改善や体内リズムも調節できる可能性がある。これまでの日本での術前炭水化物含有水の補水について歴史から現在の状況、今後の展望について概説する。

